

知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校
学校だより 第25号
令和2年2月2日
文責 校長 畑口益喜

父母が 頭かき撫で 幸くあれて 言ひし言葉ぜ 忘れかねつる
防人の歌 (万葉集)

2年生立志式

2/2(日)、2年生のPTA行事「立志式」が行われました。

御立岬公園まで歩き、そこで一人一人が決意発表、また学校へ戻ってそれぞれの保護者に向けての作文発表を行いました。

式が終わった後は祝いの膳のぜんざいをいただきました。

立志式は、武士社会で数え12～16歳の立春の日に行われていた元服式がもとになっています。この日を境に、髪型、衣服を大人のものに替えて、社会から一人前として認められました。

西郷隆盛が尊敬した幕末の志士、橋本左内は15歳の時記した『啓発録』に、「自分は何をしてもおろそかで、注意が行き届かず、弱々しくてぬるい性格であるため、いくら勉強しても進歩がない。これではとても父母の思いに応え、藩や主君のお役に立ち、祖先の名を輝かすような人間になれるはずもない。どうしてこんなに駄目なんだろう。そう思うと情けなくてたまらず、毎晩涙で布団を濡らした。」と記しました。

そして、

○稚心を去る ○気を振う ○志を立てる
○学問に勉める ○交友を択ぶ ことを決意しています。

2年生は立志式の取組を通して、将来どんな大人になりたいかを考えてきました。今日を具体的な目標、期限を決め動き出す日にしましょう。「知ることと行うことを一つにする」、将来を見据えた行動の変化が楽しみです。

学年優勝は1年生、校内百人一首大会

1/17(金)、文化図書委員会主催の校内百人一首大会を開きました。「今年の1年生は強いですよ。」との噂通り、各班が平均してポイントを上げ、すべての試合に勝利した1年生の圧勝でした、来年・再来年と3連覇を目指します。(1年担任談)」という大会でした。

学年別：優勝：1年生、準優勝：3年生、3位：2年生

班別：優勝：3年生KMさん・KNくん・YKさん班

準優勝：3年生SNさん・IHさん・MRさん班

3位：1年生NMさん・SRさん・HSさん班

個人戦：1位：SNさん③、2位：KMさん③、3位：OMさん③、4位：HAさん①



【秘密の部屋】今日は2が並び日、次は2年2月22日、その次は22年2月2日、その次は22年2月22日、その次は西暦2222年…。

【読書】020126

灰谷健次郎氏の『太陽の子』に、「本は買って読め。家は借りて住め。」という一節があります。読書量の増加が田浦中の課題の一つです。田浦小の毎月の一人あたり読書数は2.1冊、田浦中は1.4冊。年間で9冊の差があります。中学生になって勉強や部活動で読書の時間がなかなかとれないと言いますが、情報機器やゲーム機器を使う時間を読書にどう振り向けるかが肝要です。

高校生の頃は日本史と世界史の教科書に登場する本は一通り読みましたが、高校3年の通知表の所見には、「すごい読書量だが、入試を前に本を読んでいる場合ではない。」文系なので、もっと英語に時間を使えというありがたいアドバイスだということは分かります。しかし、その時の貯金が今でもプラスに働いています。大学生の頃は「岩波文庫」をかなり集めていました。カビが生え、最近大量に処分しました。しくじりました。加えて今は、情報誌やネットニュース、HPもかなり読みます。

ふと気づくと、商品パッケージ裏の成分表示やテレビに次々と表示される文字も隅々まで読んでいます。間違いなく文字中毒です。(H)

【ポケモン言えるかな】020131

来週の3日(月)は公立高校の前期選抜です。受験票の保管場所は神棚や仏壇が定番、合格に向けて八百万の神々様、仏様、ご先祖様を総動員。「おらに元気を分けてくれ〜！」状態のことと思います。

熊日新聞に、「時間配分に気を付け、自分に勝つつもりで頑張る。支えてくれた家族の気持ちに応えたい。」本校卒業生Oさんの今年のセンター試験開始前の会場でのコメントが載っていました。後輩である皆さんも入試に臨むにあたり、心に携えてほしい言葉です。

以前、「受験票を制服のポケットに入れて大事に保管していたものの、違反服だったため、当日は弟の制服を借りていき、ポケットに受験票がなくて大慌てした。」という生徒がいました。「集合場所を高校の正門としていたのに、中学校の正門で待っていた。」という失敗もありました。「学校に上履きを忘れたため、自宅のもふもふした動物スリッパで行った。」という強者もいました。何が起こるか分かりません。確認、再確認、再々確認。念には念を。

ずっと前に教えた生徒に「昨日は勉強したか？」と聞くと、彼は自信を持って「はい、頑張りました！ポケモンを151匹覚えました！」「ピカチュウ、カイリユウ、ヤドラン、ピジョン、コダック、コラッタ、ズバット、ギャロップ…♪」と歌い始めました。

どうやら何をどうすれば良いかわからなくなってしまったようです。よくあることです。付き合うために私も覚ええました。たまにはぼーっとすることも大事です。(H)

【主演にゃん優賞】020128

帰宅すると、ドアの内側で「おはぎ」が待っています。隙間から50cmほど外に出て、地面に数回ゴロゴロすると家に戻ってきます。不思議なルーティーンです。その後は「ニャアニャア」と私の後をついて回ります。「ご飯をくれ。」と言っているようです。6年間で随分ネコ語が分かるようになってきました。東京オリンピック・パラリンピックでは通訳ができそうです。

カリカリを入れると「これじゃない。」という顔をします。ウェットタイプを少しだけあげます。息子が帰って来ると、「まだご飯をもらっていない。」という顔をしてニャアニャアついて回ります。騙しのテクニックでグニャミー賞の主演にゃん優賞を狙っているようです。

ところで、ネコ科のトラやライオンは「ガオー」となき、ネコと骨格が似ている犬は「ワン」となくのに、家ネコはなぜ「ニャア」となくのでしょうか。

一説によると、人が赤ちゃんを可愛がっているのを見て、赤ちゃんの泣き声に似せたのだそうです。「お腹がすいた。」とか、「撫でてくれ。」とか、どうやったら要求が通るのかを考えた末、「何でも言うことを聞いてもらっている赤ちゃん真似をしよう！」と考えた可能性があるそうです。どのネコがそう証言したのでしょうか？あくまでも仮説の一つです。(H)